

パステーク、中富良野、緑が丘、東明、明星も決勝T進出へ。
平成19年度北海道・旭川地区リーグ兼第5回イレブン杯春季リーグ

平成19年度北海道・旭川地区リーグ兼第5回イレブン杯春季リーグは6月2日、啓北中学校、広陵中学校を会場に第11節が行われました。その結果、グループBの中富良野、グループCの緑が丘、明星、パステーク、Eの東明が決勝トーナメント進出を決めました。

第11節 6月2日(土) 啓北中学校

第11節啓北中学校会場では啓北と愛宕が対戦しました。すでに決勝T進出を決めている啓北に対して、何としても勝ち点をあげたい愛宕は大橋を中心に集中した守備を見せ、啓北のスルーパスに対してはGK二門が鋭い飛び出しで防ぎます。愛宕ペースの前半は両チーム無得点で折り返しました。後半は茂木、保田の中盤が機能し始め啓北がチャンスをつくりますが、愛宕も右サイドで片岡がねばり強いディフェンスを見せ対抗します。両チーム無得点かと思われた59分、愛宕は後半から投入された越智に右サイドの松原が絶妙のロングパスを送ります。越智はGKとの1対1を冷静に蹴りこみ貴重な先制点をあげます。これで勝負が決まったと思われましたが、ロスタイム粘る啓北は茂木のシュート気味のパスを大丸が左足で流し込んで土壇場で追いつきました。第2試合はパステークと明星が対戦。生き残りをかけるパステークは、



啓北vs愛宕

長根を中心にボールをキープし明星ゴールに迫ります。7分には高橋、33分には長根がゴールをあげ試合を優位に進めます。明星も下島を中心に反撃に出ますが、38分の竹内が1点を返すのみ、パステークが2対1で勝ちグループリーグ突破を決めました。第4試合は中富良野とashurが対戦。中富良野は前半から堀本を中心に中盤を支配し、ペースを握ります。6分にはその堀本がゴール左でボールを受け蹴りこみ先制点をあげます。後半ashurは左サイドの播磨を中心に中原らがゴールに迫りますが、シュートは中富良野GK仲条を破ることができません。逆に58分岡が自ら倒されたPKを冷静に決め、2対0で勝ち決勝トーナメント進出を決めました。



中富良野vsashur

には宮崎が連続得点。後半も得点を重ね8対0で快勝、ベスト16に勝ち名乗りをあげました。第4試合はグループリーグの1位をかけて広陵と附属が対戦しました。サイド攻撃と

2列目からの飛び出しによりチャンスをつくる広陵は15分に佐藤、16分に橋本が得点をあげ2点のリードを奪います。後半附属も速いチェックから前線にボールを送りますが、決定的チャンスにはいたりません。逆に広陵は45分松岡、59分佐藤がゴールをあげ4対0で快勝しました。第4試合は東明の攻撃力が爆発。11分に澤田のロングシュートで先制するとあとは一方的な展開。澤田が5得点の活躍を見せ、9対0で勝ち、決勝トーナメント進出を決めました。

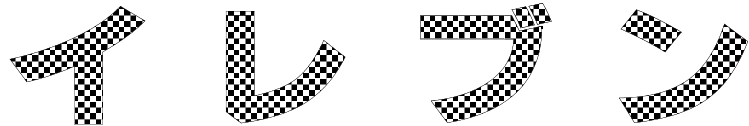
- E 啓北 1 - 1 (0 - 0) 愛宕 大丸(啓) 越智(愛)
- C パステーク 2 - 1 (1 - 0) 明星 高橋, 長根(パ) 竹内(明)
- D 東光 6 - 0 (1 - 0) 神居 皆川, 野村, 田中伸, 藤原, 五島, 山下(東)
- B 中富良野 2 - 0 (1 - 0) ashur 堀本, 岡(中) [警] 石川(a)
- A 北都 2 - 1 (1 - 0) 鷹栖 若狭, 岡坂(北) 加藤(鷹) [警] 工藤(鷹)

広陵中学校

- C 緑が丘 8 - 0 (3 - 0) 春光台 宮下, 宮崎, 鷹橋, 佐藤力, 山口, 佐藤慶(緑)
- D 北門 4 - 0 (2 - 0) 東神楽 高橋龍, 大西, 青野(北)
- B 広陵 4 - 0 (2 - 0) 附属 佐藤, 橋本, 松岡(広) [警] 岡泉(附)
- E 東明 9 - 0 (4 - 0) 美瑛 沢田, 鈴木, 松井, 北井(東)

第5回イレブン杯春季リーググループリーグ最終成績

A	コンサ	留萌	神楽	北都	神居東	鷹栖	勝点	得点	失点	差		
コンサドーレ旭川		7-0	8-0	11-0	15-0	20-0	15	61	0	61		
留萌	0-7		3-2	8-0	10-0	9-0	12	30	9	21		
神楽	0-8	2-3		2-1	7-0	3-0	9	14	12	2		
北都	0-11	0-8	1-2		2-2	2-1	4	5	24	-19		
神居東	0-15	0-10	0-7	2-2		2-1	4	4	35	-31		
鷹栖	0-20	0-9	0-3	1-2	1-2		0	2	36	-34		
B	広陵	附属	中富良野	ashur	六合	OSA	東陽	勝点	得点	失点	差	
広陵		4-0	1-0	7-0	4-0	12-0	24-0	18	52	0	52	
附属	0-4		1-0	5-0	0-0	6-0	8-0	13	20	4	16	
中富良野	0-1	0-1		2-0	2-0	4-0	13-0	12	21	2	19	
ashur	0-7	0-5	0-2		1-0	3-0	12-0	9	16	14	2	
六合	0-4	0-0	0-2	0-1		1-1	1-0	5	2	8	-6	
OSA旭川	0-12	0-6	0-4	0-3	1-1		3-0	4	4	26	-22	
東陽	0-24	0-8	0-13	0-12	0-1	0-3		0	0	61	-61	
C	緑が丘	明星	パステ	春光台	忠和	富良東	港南	勝点	得点	失点	差	
緑が丘		3-0	3-1	8-0	4-0	10-0	13-0	18	41	1	40	
明星	0-3		1-2	1-0	3-0	3-0	8-0	12	16	5	11	
パステーク	1-3	2-1		1-1	1-1	3-0	6-0	11	14	6	8	
春光台	0-8	0-1	1-1		1-0	4-0	2-1	10	8	11	-3	
忠和	0-4	0-3	1-1	0-1		1-1	5-0	5	7	10	-3	
富良野東	0-10	0-3	0-3	0-4	1-1		3-1	4	4	22	-18	
港南	0-13	0-8	0-6	1-2	0-5	1-3		0	2	37	-35	
D	北門	永山	上富良	東光	東神楽	北星	神居	勝点	得点	失点	差	
北門		1-0	3-1	1-0	4-0	6-0	11-0	18	26	1	25	
永山	0-1		3-0	3-1	4-0	6-0	11-0	15	27	2	25	
上富良野	1-3	0-3		3-1	4-2	1-1	3-1	10	12	11	1	
東光	0-1	1-3	1-3		4-3	5-0	5-0	9	16	10	6	
東神楽	0-4	0-4	2-4	3-4		1-0	2-0	6	8	16	-8	
北星	0-6	0-6	1-1	0-5	0-1		8-0	4	9	19	-10	
神居	0-11	0-11	1-3	0-5	0-2	0-8		0	1	40	-39	
E	東明	啓北	永山南	愛宕	増毛	富良西	美瑛	勝点	得点	失点	差	
東明		0-0	1-0	1-1	3-2	富良西	美瑛	9-0	14	22	3	19
啓北	0-0		2-1	1-1	2-0	5-0	6-0	14	16	2	14	
永山南	0-1	1-2		3-1	1-0	5-0	10-0	12	20	4	16	
愛宕	1-1	1-1	1-3		3-2	3-2	5-0	11	14	9	5	
増毛	2-3	0-2	0-1	2-3		1-0	5-1	6	10	10	0	
富良野西	0-8	0-5	0-5	2-3	0-1		3-1	3	5	23	-18	
美瑛	0-9	0-6	0-10	0-5	1-5	1-3		0	2	38	-36	



神楽、永山南、愛宕でベスト16が出揃う!

平成19年度北海道・旭川地区リーグ兼第5回イレブン杯春季リーグ

平成19年度北海道・旭川地区リーグ兼第5回イレブン杯春季リーグは6月3日にグループリーグ最終節が神楽中学校、愛宕中学校を会場に行われ、決勝トーナメントと大雪ライオンズクラブ旗争奪ジュニアユース選手権に出場する16チームが出揃いました。最後の16番目の枠は永山南に破れはしたものの、前日啓北と引き分けて勝ち点11を獲得していた愛宕が獲得しました。

第12節 6月3日(日)

最終節の神楽中学校での第2試合はEグループの1位の座をかけて啓北と東明が対戦しました。スタメン中に3年生がGK石田一人の啓北でしたが、集中した守備で高橋峻、茂木のCBを中心に東明の攻撃を跳ね返します。中盤から前線にかけては、保田、藤原、山内らが激しく動き、東明になかなかよい攻撃を作らせません。GK石田の美技もあり前半を0対0で折り返します。後半、徳廣、鈴木が起点となり、左サイドの山中のオーバーラップなどから東明は攻撃をしかけますが、啓北の守備陣の集中力は高く、決定機をつくらせません。残り10分となったからは、啓北が左サイドを中心の攻撃を組み立て、池田、山内がチャンスをつくりかけますが、澤田を中心とした東明の守備陣をあともうすのところで崩すことができず、スコアレスドローに終わりました。



OSA旭川vsashur

第3試合は神楽と北都が対戦。決勝トーナメント進出をかけた重要な試合となりました。前半から拙攻にも助けられ試合の主導権を握ります。岡坂、片野が中心となって神楽の攻撃をストップします。20分には佐々木がGKとの1対1を冷静に決め先制します。敗れると予選での敗退が決まる神楽ですが、攻撃がちくはぐで得点をあげられません。50分過ぎまで北都に巧みに守られ敗色濃厚でした。しかし、53分仲が左サイドを個人技で突破、GKの左を低いシュートで打ち抜きついに同点に追いつきます。これで勢いにのった神楽は56分、首藤が直接FKを決め2対1で辛勝。ベスト16に滑り込みました。



啓北vs東明

愛宕会場の第1試合では永山南と愛宕が対戦。勝つしかない永山南でしたが、この日はゲームを支配。愛宕GK二門の好守を破り、11分には小谷がCKから先制点を決めます。この得点でリズムにのった永山南は14分、ゴール中央の混戦から笠原が押し込み2点目を奪います。さらに32分にはセンタリングに中央から合わせた笠原がだめ押しの3点目をあげます。愛宕も庄司が53分に1点を返しますが反撃もここまで。3対1で永山南が快勝し、土壇場で決勝トーナメント進出を決めました。

第2試合も生き残りをかけてパステークと春光台が対戦。前半は春光台がやや優勢に試合を進めますが得点には至りません。後半パステークは、35分田中が中央からドリブルで抜け出し重要な先制点を決めます。勝たなければならない春光台も必死に反撃。45分には小野が同点ゴールをあげますが万事休す。生き残りをかけた戦いはドローに終わりパステーク

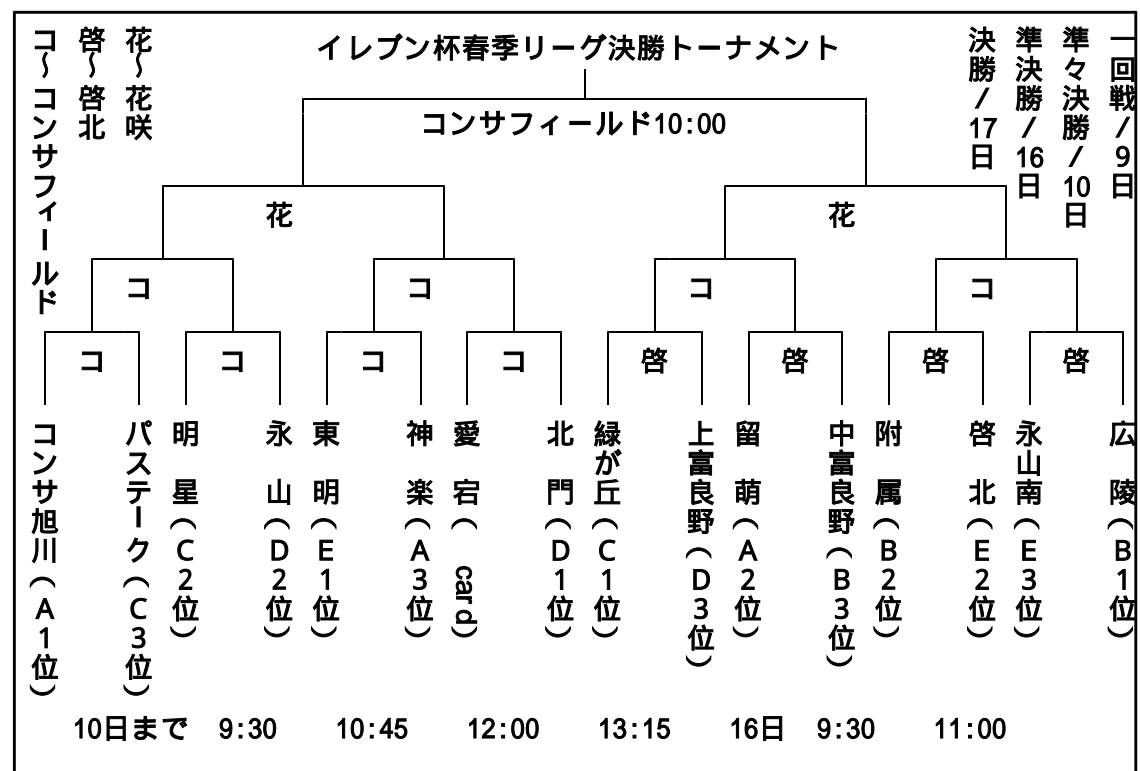
クがベスト16に残りました。第4試合は北門と永山が対戦。序盤は永山が海田を中心に激しく動きますが、北門は、13分左サイドからの攻撃を起点にカウンターにより小出陣が先制点を決めます。この得点によりリズムが狂わされた永山の攻撃を北門はしのぎ、1対0の勝利。グループ1位の座を勝ち取りました。

神楽中学校

- B ashur 3 - 0 (0 - 0) OSA旭川 中原, 工藤, 播磨(a)
- E 啓北 0 - 0 (0 - 0) 東明
- A 神楽 2 - 1 (0 - 1) 北都 仲, 首藤(神) 佐々木(神)
- B 六合 1 - 0 (0 - 0) 東陽 熊谷(六)
- A 神居東 2 - 1 (1 - 0) 鷹栖 広瀬, 古屋(神) 進藤(鷹)

愛宕中学校

- E 永山南 3 - 1 (2 - 0) 愛宕 小谷, 笠原(永) 庄司(愛)
- C パステーク 1 - 1 (0 - 0) 春光台 田中(パ) 小野(春)
- C 緑が丘 4 - 0 (2 - 0) 忠和 鷹橋, 宮崎, 永田, 杉本(緑)
- D 北門 1 - 0 (1 - 0) 永山 小出陣(北) [警] 滝沢(北)



第14回大雪ライオンズクラブ旗争奪ジュニアユース選手権グループ分け

グループA	グループB	グループC	グループD
コ ンサ 旭川 (A 1位)	広 陵 (B 1位)	緑 が 丘 (C 1位)	北 門 (D 1位)
附 属 (B 2位)	明 星 (C 2位)	留 萌 (A 2位)	東 明 (E 1位)
啓 北 (E 2位)	中 富 良 野 (B 3位)	永 山 (D 2位)	上 富 良 野 (D 3位)
パ ス テ ーク (C 3位)	神 楽 (A 3位)	愛 宕 (Card)	永 山 南 (E 3位)

日程

第1節	8月11日(土)	準々決勝	8月19日(日)
第2節	8月12日(日)	準決勝	8月25日(土)
第3節	8月18日(土)	3位決定戦, 決勝	8月26日(日)